

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	相談支援部会
開 催 日 時	令和6年8月29日 ・ 17:00 ～ 18:00
記録担当委員	田口 重和
<p>【協議概要】</p> <p>配布資料：専門部会次第、7/25 各部活動報告（提案シート）、地域生活支援拠について</p> <p>・ 地域生活支援拠等の整備について 趣旨：障害者の重度化・高齢化や「親なき後」を見据え、居住支援5つの機能を整備し、地域の相違工夫によって、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供作りを構築する。 目的：①緊急時でも確実な短期入所等の活用の実現 ②共同生活、一人暮らしへの円滑な支援の実現。 5つの機能：1相談 2緊急時の受け入れ・対応 3体験の機会・場 4専門的人の確保・養成 5地域の体制づくり</p> <p>小金井市内状況：市を単体として一圏域内ですべて整備（和6年3月1日整備済） 多機能拠点型（一か所に対応）ではなく、小金井市では面的整備型とし複数の事業所で連携する。</p> <p>今後の課題</p> <p>① 拠点コーディネーター配置：※小金井市は現時点で未配置のため事業所間の連携が難しい。（コーディネーターの要件：社会福祉士等（必須ではない）障害福祉に知識、実務の経験がある方。計画相談員との兼務はできない。1回あたり5,000円、月100回までは支援費用が発生。小金井市の規模では一人の配置、長期入院・体験調整等の精神障害の支援が多いことを想定。）</p> <p>② 自立に向けた仕組み作り：仕組み作りがない、①を配置し連携が必要。</p> <p>③ 算定加算要件：事業所の自立支援協議会小金井特有の課題を事業所の方から報告してもらう仕組み作りが必要。</p> <p>④ 緊急時の受入体制：事業所が一か所しかない⇒事業所を増やし確実な体制作り。</p> <p>⑤ その他：事業所に対する支援（費用）、コーディネーターの財政、環境整備が必要。他意見等・拠点コーディネーター支援事業所に置くことが望ましいと考え、市としては今後も課題を抽出していく。・障害種別に配置できるほうが望ましい。・従来の計画相談員が担っている緊急の対応等業務が負担となっているため、スペシャリストを置きたい。</p>	
<p>【次回の開催日程】</p> <p>令和6年9月26日（木）18時 前原暫定集会施設・B会議室</p>	